

新たな知の創造を
Creation of the Intellect

共生社会に寄与する プロフェッショナル人材を育成

Global Meiji

国際化時代における 大学院教育

本大学院では、外国留学制度を利用した海外留学の機会が提供されています。各研究科とも積極的に外国人留学生を受け入れているほか、政治経済学研究科においては、2012年度よりデューク大学アジア太平洋研究所と協力協定を結び、交換留学を実施しています。また経営学研究科においては、2010年度よりマレーシア工科大学とダブルディグリー・プログラムを開始しており、プログラムに参加した大学院生は、経営学研究科に在学しながら所定の要件を満たすことにより、本学の学位と相手校の学位の両方を取得出来ます。ほかにも、外交官や著名な外国人研究者による特別講義や、英文論文執筆指導や留学生への日本語論文執筆指導などの講座開設も行っています。

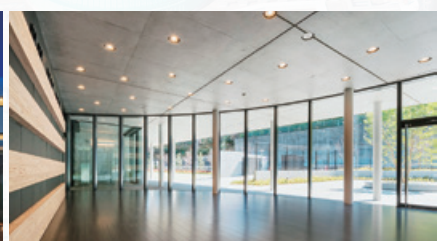
明治大学全体の取り組みとして、文部科学省の平成26年度「スーパーグローバル大学創成支援」に続き、平成28年度「大学の世界展開力強化事業～アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化～」に採択されました。

世界各国から集まった留学生や講師陣との交流は、大きな知的刺激になると期待されています。

国際交流支援 → P.013

政治経済学研究科 デューク大学(研究科間協定校)との交換留学 → P.044

経営学研究科 協定校とのダブルディグリー・プログラム → P.054



TOPICS

明治大学グローバル・ヴィレッジ(Meiji Global Village:MGV) 外国人留学生と日本人学生が共に生活する「学びの場」

本学では国際化および共創学習・教育の推進の一環として、2019年3月より和泉キャンパスに「明治大学グローバル・ヴィレッジ(Meiji Global Village:MGV)」を設置しました。

この国際混住寮は、単なる学生の居住の場ではなく、外国人留学生と日本人学生が学習スペースや交流スペースを共にしながら生活し、国際コミュニティを形成していく「学びの場」としても位置づけられています。

グローバル・ヴィレッジ → P.013/P.143

Universal Meiji

充実した教授陣

本大学院は、日本を代表する総合大学として、それぞれ研究領域、教育目標の異なる12研究科により構成され、各研究科においてさまざまな研究テーマを持つ、多数の優れた教授陣により、きめ細かい研究指導、教育体制が構築されています。詳しくは各研究科の教員一覧のページをご覧ください。皆さんが研究指導を受けてみたいと希望する教員が見つかるはずです。また、大学院の授業の特徴として、少人数で行われることが挙げられます。Face to Face の授業は、教員と学生としてだけでなく、ときには一研究者あるいは一社会人としての交流が図れることでしょう。

→ 各研究科の教員一覧ページをご覧ください。

研究者養成と高度専門職業人の養成

12の研究科は、研究者養成と高度専門職業人養成に力を注いでおり、近年は、研究者養成のみならず、社会人教育にその門戸を開いています。法学研究科では、法学研究者養成コース・高度職業人養成コースの2コース、政治経済学研究科では、研究者コース・高度職業人コースの2コース、経営学研究科ではリサーチコースとマネジメントコースの2コースを設定し、研究者養成と高度専門職業人養成の教育・研究目的を意識したカリキュラムを組んでいます。なお、経営学研究科のマネジメントコースは、夜間・土曜日の科目履修のみで修了可能となっています。このように、本大学院は、本学が社会の中で従来から担ってきた研究者養成の機能と、近年社会からの要請の多い高度専門職業人の養成という機能を果たすべく、21世紀型大学院として前進しています。



駿河台キャンパス
Surugadai Campus
→ P.015



生田キャンパス
Ikuta Campus
→ P.099



和泉キャンパス
Izumi Campus
→ P.141



中野キャンパス
Nakano Campus
→ P.153

Fusion of Meiji

人文科学・社会科学・ 自然科学融合の教育

本大学院に置かれている12研究科は、人文科学・社会科学・自然科学の幅広い領域にわたる教育研究を行っており、本人の意思により、1つの専門領域だけに偏らない、複合した領域を学ぶチャンスに恵まれています。こうした複合領域を学ぶことで、1つの研究をさまざまな視点から探ることができ、また、新しい学問領域を切り開くことにもなるでしょう。そして、こうした素養を身に付けた人材は、今後ますます社会的に必要とされていきます。この点が、総合大学としての本大学院の「強み」の一つです。



都市型大学院としての 教育・研究拠点

文系7研究科(法学/商学/政治経済学/経営学/文学/情報コミュニケーション/グローバル・ガバナンス)は、駿河台キャンパスのグローバルフロントに研究拠点を構えています。グローバルフロントには、大学院関連施設のほか、国際連携部門・研究知財部門の施設も入り、恵まれた研究環境を提供しています。そして、古書店街が広がり学生街の佇まいを色濃く残すお茶ノ水は、霞が関や大手町など政治経済の中枢に近く、研究職を目指す方はもちろんのこと、働きながら更に自分を磨きたい社会人の方にとっても最適な教育・研究の拠点となっています。

理工学・農学研究科は、生田キャンパスにその研究拠点を構えています。新宿から電車で30分、都心からのアクセスがよく広大で緑の多いキャンパスには、高度な研究を目的としたハイテク・リサーチ・センターを始めとする、諸研究施設が設置されています。更に、共同利用施設である、マルチメディアワークステーション、多機能プレゼンテーションホールなどの充足が図られ、自然と調和した教育・研究環境づくりを進めています。

教養デザイン研究科が拠点とする和泉キャンパスは、新宿・渋谷・吉祥寺から約10分の利便性と環境のよさを両立した副都心キャンパスです。緑豊かな環境の中にあり、新入生歓迎などのイベントがある4月と11月は、特に活気にあふれています。キャンパスのシンボルとなる新図書館に加え、2022年に新たに教育棟(和泉ラーニングスクエア)が竣工し、更に教育・研究環境の充実した拠点となりました。

先端数理科学研究科、国際日本学研究科の2研究科と理工学研究科の一部専攻は、2013年度に新たに開設した中野キャンパスが研究拠点となります。駿河台・和泉・生田の既存のキャンパスとも交通至便な位置にあり、国際化、先端研究、社会連携の拠点形成というコンセプトにふさわしい発展が期待されます。

充実の奨学金制度で研究活動をサポート

本大学院では、大学院生が研究活動により専念出来るように、各種奨学金制度などの確立に力を入れています。返還の必要がない給費型奨学金として、大学院に優秀な成績で入学した方を対象に、年間授業料の半額相当を標準在学期間給付する「明治大学大学院研究奨励奨学金」制度を設けています。一方、貸費型奨学金としては、独立行政法人日本学生支援機構奨学金のほか、民間団体・地方公共団体が行う奨学金があります。そのほかにも、本大学院に在籍しながら教育や研究の補助業務に従事することによって、給与の支給を受ける助手制度やRA・TA制度があります。また、学会発表費用の一部や、意欲ある研究活動への助成も行っており、大学院生の研究活動を支援しています。

→奨学金の情報についてはP.010をご覧ください。

